

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公表番号】特表 2007-503566 (P2007-503566A)
 【公表日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-007
 【出願番号】特願 2006-524101 (P2006-524101)
 【国際特許分類】

F 2 3 J 3/00 (2006.01)

C 1 0 B 53/00 (2006.01)

【F I】

F 2 3 J 3/00 Z A B Z

C 1 0 B 53/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 14 日 (2007.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱分解室外に組成物を運ぶように構成された出口と、システムの動作中に出口を清浄するための機構とを備え、機構が、出口を清浄するためにスチームを使用するように構成される熱分解廃棄物処理システム。

【請求項 2】

組成物が気体である請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

組成物がチャーである請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

機構が、気体が室内において生成されている間、およびまたは気体が室外に運ばれている間、出口を清浄するように構成される請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

機構が、チャーが室内において生成されている間、およびまたはチャーが室外に運ばれている間、出口を清浄するように構成される請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

清浄機構が、出口を断続的に清浄するように構成される請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

熱分解室を加熱するために生成される熱が、スチームを生成するために使用される請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

コジェネレーションのために廃棄熱を使用するように構成され、出口を清浄するために使用されるスチームが、そのようなコジェネレーションの副産物である請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 9】

清浄機構が、気体が出口を通して熱分解室外に移動するのを容易にする方式で、流体を出口に注入するように構成される請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 10】

スチームが、Xを20として、少なくともX p s iの圧力で出口に導入される請求項1に記載のシステム。

【請求項11】

Xが90である請求項10に記載のシステム。

【請求項12】

Xが125未満である請求項10に記載のシステム。

【請求項13】

スチームが、Yを250または350として、少なくとも華氏Y度の温度において出口に導入される請求項1に記載のシステム。

【請求項14】

出口を清浄するための機構が、冷却剤、反凝集剤、発火抑制剤、および粉塵抑制剤の少なくとも1つの源に結合される請求項1に記載のシステム。

【請求項15】

出口を清浄するための機構が、出口内に配置され、かつ出口の長さの少なくとも一部に沿って延びる穴開きパイプを備える請求項1に記載のシステム。

【請求項16】

スチームを出口に注入することによって組成物が出口によって輸送されている間、出口を清浄することを備える、熱分解室外に組成物を輸送するための少なくとも1つの出口を有する熱分解システムを使用して廃棄物を処理する方法。

【請求項17】

スチームが、熱分解室から少なくとも部分的に離れる方向において注入される請求項16に記載の方法。

【請求項18】

スチームが、注入点の中心軸に少なくとも部分的に接する方向において注入される請求項16に記載の方法。

【請求項19】

スチームが、少なくとも2つの別々の点において注入される請求項16に記載の方法。

【請求項20】

出口を清浄するステップが、室外に輸送されているあらゆるチャーに、チャー以外の流体または固体を注入することをさらに備える請求項16に記載の方法。

【請求項21】

注入された流体または固体が、冷却剤、反凝集剤、発火抑制剤、反酸化剤、および粉塵抑制剤の少なくとも1つを備える請求項20に記載の方法。

【請求項22】

注入された流体がスチームである、請求項20に記載の方法。

【請求項23】

出口が、細長いチャー出口線に結合され、流体または固体を注入することが、チャー出口線の長手長さの一部内にわたって配置され、かつ該長手に沿って延びる分配線にスチームを強制することを備える請求項20に記載の方法。

【請求項24】

分配線が、分配線に強制されたスチームが開口を介して線を出て、チャー出口線に入るように、複数の開口を備える請求項23に記載の方法。